

\*\*\*メールマガジン No.13 - 08.7.7\*\*\*

\*\*\*NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.13\*\*\*

### 【自転車は、CO<sub>2</sub>削減の最終兵器】

自転車の有用性を常日頃皆さんに語っていますが、丁度、洞爺湖サミットが今日から開催されます。

人類が自らのエゴで破壊した地球環境に関して話し合いがされる訳ですが、エゴの象徴である各国首脳に期待はまったくしていません。ただ、日本の国が恥をかかないように願うだけです。

自国の利益優先（首脳の仕事）の考え方と、CO<sub>2</sub>削減を始めとする地球環境、食料、その他問題解決とは相反する事です。今の福田さんに、エゴの塊の如き各国首脳をリードし、調整する能力があるとは思えません。

茶番劇の政治ショーは横に置いて、自転車の有用性に関して書きたいと思います。

自転車（主にフレーム）は、特にカーボン素材は石油から作られます。クロモリ素材も鉄ですからその製造には CO<sub>2</sub> を排出します。アルミも、その生成には多量の電気を使います。その他、自転車の各部品も製造に際しては、CO<sub>2</sub> を排出します。但し、自転車を運転するには、化石燃料を必要としません。

自転車をこぐエネルギーは、人間のエネルギー（人力）です。

自転車をこぐとお腹が減りますが、メタボの人には丁度良いかもしれません。

製造するには CO<sub>2</sub> が発生しますが、使い捨てではない自転車を大切に使えば、環境にやさしい乗り物です。

自転車を運転するには、ルール（道路交通法）に関する知識とほんの少しの体力があれば誰でも運転出来ます。

自転車の運転が日常的になれば、10Km、20Km、30Km の距離でもこぐ事が出来ます。

トップアスリートが走るマラソンの 42.195Km も、マラソンの世界記録を上回るスピード（時速 21Km で 2 時間）で走る事が出来ます。

自転車と言うお道具を使う事に依り、簡単にそして想像を遥かに超える移動が出来るのです。

人々の日常生活や経済活動の中で、自動車や単車に依存している「移動」と言う行為の 10% を自転車での「移動」に変えれば、10% の CO<sub>2</sub> 削減になります。世界の産油国も石油消費量が下降線をたどれば、現状を変えざる得ません。ダブついたお金が、おかしい投機に廻る事もなくなります。

自転車が、環境問題等の地球が抱える難問の解決策と、強く信じます。

20 世紀最高の発明品「自転車」が、21 世紀そして未来を救う「お道具」と思っています。

しかし、日本では、自転車を取り巻く環境、すなわち、自転車に安全、安心、快適に利用する場（道路や駐輪場）を与えない行政、自転車の安全、安心、快適な利用に後ろ向きな自転車業界、そして全ての人々の自転車の安全、安心、快適な利用に関する意識やモラルの低さが、環境問題解決（CO<sub>2</sub>削減）の門戸を閉ざしているのです。

7月7日は、七夕さんです。

笹に、願い事を書いた短冊を吊るし、願い事をする日です。

「誰もが、安全に、安心して、快適に自転車を利用出来る日がきますように！」  
「人類が、自らが地球の環境を破壊した事に気付き、自戒の念を持ち、無駄をしないようになりますように！」

と書きたいのですが、笹も短冊も使わず、心で念じる事にします。

ほんの少しですが、エコ（無駄をしない）です。

パソコンを使う＝電気を使った、補いになれば・・・。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

\*\*\*メールマガジン No.14 - 08.8.6\*\*\*

\*\*\*NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.14\*\*\*

#### 【自転車事故】

読売新聞（YOMIURI ONLINE） - 2008年8月2日 13時49分

#### 朝の環7交差点、自転車同士が衝突し58歳女性死亡

東京都杉並区堀ノ内の環状7号の交差点で1日午前9時前、自転車同士が衝突し、このうち1台に乗っていた同所の会社役員、丸山紀代さん（58）が約12時間後に死亡した。

警視庁杉並署幹部によると、丸山さんの自転車が横断歩道を渡ろうとしたところ、車道を走ってきた同区内の私立大1年の男子学生（18）の自転車と衝突、丸山さんは道路に投げ出された際、頭を強く打ったという。

車道の信号は赤で、同署は、男子学生が時速約30キロで信号を無視したとみて重過失致死などの疑いで事情を聞いている。

信号無視！で、人殺し！！

事情聴取後のニュースが配信されていませんが、信号無視が明らかであれば、即刻逮捕でしょう！

この男子大学生は、その犯した罪を償い、被害者のご家族に対し賠償が出来るのでしょうか？

この様なルール・マナーを守らない自転車利用者がいると、益々自転車の社会的地位が下がります。

世間の認識も、報道の扱いも「自転車」＝ママチャリのレベルですので、スピードを出す自転車＝危ない と安直に結びつけ、我々の様にルール・マナーを守り健康維持や楽しみ、そしてエコロジーの追求をしている自転車利用者の立場を危うくしています。

自転車利用者にも色々な人間がいます。

ルール・マナーを無視し、利便性だけで自転車を利用する自分勝手な人（ほとんど多くの自転車利用者）

レース志向でロードレーサーにまたがり、道路を疾走する人

ガソリン高騰で車の利用を控え、自転車通勤に切り替えた人

健康志向で自転車での有酸素運動を目指す人

自転車が大好きで、仕事に自転車を利用している人 \*

アウトドア、健康、流行、ファッションで自転車に乗る人

様々な自転車利用者がいます。

どの様な目的や意識で自転車を利用してるかは個々のご自由ですが、ルール・マナーを守らない自転車利用者は道路上から排除しなければなりません。

\*特に、自転車便メッセンジャー（自転車で物や書類を届ける仕事）で、ピスト（トラックでの競技に使用されるレース用自転車 = 固定ギア、ブレーキ無し）に乗っている人達！

あなた方が使っている自転車（ピスト）は、道路交通法違反です！！！！

信号待ちで、スタンディング（足をつかずに静止）するバランスの良さ

脚力や逆こぎで、スピードをコントロールする凄さ

後輪をジャンプさせ、足の力で自転車を急停止させる妙技

同じ自転車乗りとして、あなた方の自転車（ピスト）を運転する、技術、体力には拍手を送りますが、公道をピストで走行する事はやめて下さい。

ブレーキを装備していない自転車を運転するのは非常に危険な行為です。道路交通法違反です！

ピストに乗りたいたいのであれば、トラックで存分にその実力を発揮して下さい。

競輪選手やトラックレーサーになれるだけの実力が無いにもかかわらず、自らの技量を人々に示したいのなら、サーカスや中国雑技団に所属し、その妙技を披露すれば良いのでは？！

ルール・マナーを守らない自転車利用者の愚行で、自転車の社会的地位を失墜させられる事は、残念な事です。我々NPO KEEP LEFT は、「安全、安心、快適な自転車利用」を皆さんに提案していきます。

自分自身が安全運転を心がけていても、無謀なドライバーや道路利用者が存在します。

ルール・マナーを守る自転車便メッセンジャーの方々には、事故の無い事を願っています。

福井県で3日に行われた「全日本実業団サイクルロードレース in 丸岡」で、参加選手の大阪府吹田市の男性（48）がコースとなっている同町下久米田の県道脇の電柱に激突、胸などを強く打ち、約1時間20分後に搬送先の病院で死亡が確認されました。事故原因は、現在調査中ですが、機材トラブルとの話も伝わっています。

ご冥福をお祈り致します。

レースに出る以上、事故に関しては自己責任が常識ですが、機材トラブル（整備調整不足）が原因となれば、なおさら自己責任の範中です。

プロロードレーサーが使用する機材と同等のものは、お金を出せばアマチュアでも手に入れる事が出来ます。

走行スピードや走行距離は別にして、アマチュアでもその機材に乗る事が出来ます。オープンレースに出走する事も可能です。しかし、プロとアマでは、専属のメカニックがいるかないか、大きな違いが在ります。アマの場合、機材の点検、整備調整は、自分自身で行なわなければなりません（中には、自転車屋さんに任せる方も）。

今回の事故の原因が機材の整備調整不良であれば、残念でなりません。

一方で、今回の事故の原因が、機材の欠陥（製造上の欠陥、強度不足等）であったのなら、背筋が凍る思いです。

日々の点検整備で欠陥（製造上の欠陥、強度不足、その他製造物としての欠陥）が解れば良いのですが、無理です。製造メーカーさんの良識を信じ、祈るしかないです。

自転車や自転車の部品がリコールされたのは、近年では一部の電動アシスト付き自転車だけで、ロードバイクやその部品のリコールは記憶にないです。

自転車も立派な乗り物（軽車両）です。命が乗っかっています。

このレース事故で亡くなられた方のご供養の為に、管轄警察の坂井署や主催者の全日本実業団自転車競技連盟さんが、今回の事故原因をあらゆる角度から追求し、真摯に原因の解明と公表を行なうのを切に願う次第です。

理事長 佐原 純一郎

\*\*\*メールマガジン No.15 - 08.8.6\*\*\*

\*\*\*NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.15\*\*\*

【暑中お見舞い】

毎日暑い、熱い、日が続きます。

皆様、お元気で自転車と楽しんでおられますか？

事故なく、安全に、安心して、快適に自転車ライフを過ごされている事を心中よりお祈り申し上げます。

さて、8月のお盆休みですが、13日（水）～17日（日）の間、当NPO法人のサロン（富士商会 1階旧骨董家具ギャラリー）を一般開放致します。会員の方だけではなく非会員の方も是非お越し下さい。尚、お越しのご予定を事前に連絡頂ければ幸いです。

注- サロンでは、冷やし泡、冷やしビール、冷やし水等ご用意しておりますが、自転車でお越しの方には、アルコール類はお出し出来ませんので、あしからずご了承お願いいたします。

\*\*\*自転車に乗る時には、水の補給をこまめに取りましょう！！！！

では、素敵な夏休みをお過ごし下さい。

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎